

五小っ子

平成29年度 学校便り第20号 (12月21日)

島原市立第五小学校
校長 永田 俊文



学校教育目標

『進んで学び、思いやりの心を持ち、
心身ともにたくましい子どもを育成する』

○ やさしさいっぱい ○ かしこさいっぱい ○ たくましさいっぱい
教育目標実現を目指し、子どもたち一人ひとりを大切に、全職員で力を
合わせ、日々の教育活動に取り組みます。

『怒(ど)』と『恕(じょ)』

明日は二十四節気の第22「冬至」です。
比較的温かい冬至ですが、ゆず湯で温まっ



て美味しいかぼちゃをいただきたいものです。

さて、早いもので今年も残すところ10日となりました。
いよいよ子どもたちは明後日23日から冬休みに入ります。

明日の終業式ではいつも増して「**自分の命は自分で守る**」
ことの大切さを伝えたいと思います。

この時期になると、毎年お伝えしたい文章がありますので
お付き合いください。

ある雑誌に目を向けていましたら、「怒と恕」という次の
ような一節に出会いました。私自身大いに反省させられまし

たのでお歳暮代わりに紹介します。

・・・『恕(じょ)』：漢和辞典では「相手に対して自分がどれだけ優しさ、ぬくもり、
思いやりをもっているか、その量をいう」となっていました。「忠恕」「寛恕」
などの言葉が紹介されていました。

私はこれまで「怒」という文字は多く見かけましたし、使うこともたくさんあり
ましたが、「恕」の文字は見かけることも少なく、恥ずかしいかな使うこともほと
んどできませんでした。

漢字事典で調べてみますと、「怒」は「強く心を緊張させること。いかる、おこ
る」という意味であり、「激怒」「憤怒」などの言葉が紹介されています。「恕」に
ついては、「如」は「汝(自分とペアをなす相手)」と同系の言葉で、自分と同じよ
うな対者という意味を含み、「相手を自分と同じように見る心のこと」となってい
ます。

「又」にするのか「口」にするのかによって、「相手
に対して、いかる心」になってしまうのか、それとも
「相手を優しさ、ぬくもり、思いやりをもって接する
心」になるのか、大きく異なってしまいます。

今、親御さんや街の皆さんは、子どもたちに接する
とき、どちらの文字で多く接していますでしょうか。

私自身の経験では、親として、自分のペースに子
どもを合わせようとしている時は「怒」の文字が多くな
っていましたし、期待をあまりにも強く寄せている時
も「怒」でした。

—右頁へ続く—



又、子どもが赤ちゃんの時期は「怒」で中学・高校生にな
ってくると「怒」が多くなりました。おじいちゃんやおばあ
ちゃん、近所の方はどちらかという「怒」の文字だったと
思います。子どもは「怒」と「恕」の中で育っていたと思っ
ています。

私自身が行った「怒」についても、いくつかの種類があっ
たと思っています。子どもの意向を無視して、一方的に頭ご
なしに感情そのものを子どもにぶつけてしまう「怒」と、冷
静に親としての怒り、さらには人として許せないという怒り
を見せる「怒」とがありました。

私は、親として時には感情を直接ぶつけてしまう「怒」で
あっても、それまでの育ての過程に「怒」があり、子ども自身がそれを感じ取って
いれば、その「怒」も受け入れられるものだと思いますが、いかがでしょうか。

「愛されている」「守られている」と感じとっていない中での親の「怒」が繰り返され
ると、深い心の傷となって「生を受けた喜びどころか生への悲しみ」を持ってしま
うと思います。このような時、子どもたちはどこかに「恕」を求めます。その「恕」
が子どものまわりにあれば、その子を支えることとなります。学校の友達であったり、
先生であったり、おじいちゃん、おばあちゃんであったり、街のイベントであったり、
ボランティア活動であったり。或いは、人による見守りではないが、なにかその子に
とって気持ちの安らぐ物、場所であってもよいと思います。

子どもを育てるには、各家庭の中と外に、即ち家庭と隣近所、地域と学校に「怒」と
「恕」とがあり、それが連動していることが良いことだと思います。ところが、昨
今は地域に「恕」を求めることは、難しいのが現実です。例えば、子どもたちに「し
っかりあいさつできるね」「よくゴミ出しをしているね」と褒める言葉をかけるこ
とはあるでしょうか。街の中で取り囲まれるいくつかの活動や行事に子どもが家族
と参加し、そこで汗を流したことや担当の仕事をやったことを認めるとい
う場面がたくさんもたれているでしょうか。特に、思春期の子どもたちに。こ
うした中で、子どもたちが「恕」を感じ取れば、もし家の中で「怒」と遭遇す
ることが多いとしても、それを振り切ることができると思います。

子どもが生活する場面である家庭と隣近所、地域と学校の中に、子どもに向か
っての「怒」と「恕」の文字を、特に「恕」の文字をもっともっと普及していき
たいと思います。

『恕(じょ)』の文字を第五小学校にも各家庭にもたくさん増やしたいですね。来
年はきっとそういたしましょう。



写真は今年お気に入りの
2枚です。

平成30年が皆様にとって幸せな良い年となりますように！！

※平成30年1月15日(月)から五小HPアドレスを移動します。詳しくはHPトップから